

学習指導要領		都立淵江高校 学カスタンダード
<p>(1) 世界史への扉</p> <p>自然環境と人類の関わり、日本の歴史と世界の歴史のつながり、日常生活にみる世界の歴史に関わる適切な主題を設定し考察する活動を通して、地理と歴史への関心を高め、世界史学習の意義に気付かせる。</p> <p>ア 自然環境と人類の関わり 自然環境と人類の関わりについて、生業や暮らし、交通手段、資源、災害などから適切な歴史的事例を取り上げて考察させ、世界史学習における地理的視点の重要性に気付かせる。</p> <p>イ 日本の歴史と世界の歴史のつながり 日本と世界の諸地域の接触・交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な歴史的事例を取り上げて考察させ、日本の歴史と世界の歴史のつながりに気付かせる。</p> <p>ウ 日常生活にみる世界の歴史 日常生活に見る世界の歴史について、衣食住、家族、余暇、スポーツなどから適切な事例を取り上げて、その変遷を考察させ、日常生活からも世界の歴史が捉えられることに気付かせる。</p> <p>(2) 地域世界の形成</p> <p>人類は各地の自然環境に適応しながら農耕や牧畜を基礎とする諸文明を築き上げ、やがてそれらを基により大きな地域世界を形成したことを把握させる。</p> <p>ア 西アジア世界・地中海世界 西アジアと地中海一帯の地理的特質、オリエント文明、イラン人の活動、ギリシア・ローマ文明に触れ、西アジア世界と地中海世界の形成過程を把握させる。</p>	<p>地理的視点からの世界史理解が出来るように、適切な事例を取り上げて学習させる。</p> <p>世界史上の主要な出来事と、その同時期の日本の状況について学習させる。</p> <p>生徒に身近な生活文化を題材に、その歴史的側面について学習させる。</p> <p>西アジア世界の概略を理解させ、さらに地中海世界へとつながる歴史的流れを捉えさせる。</p>	

学習指導要領		都立淵江高校 学カスタンダード
<p>イ 南アジア世界・東南アジア世界 南アジアと東南アジアの地理的特質、インダス文明、アーリヤ人の進入以後の南アジアの文化、社会、国家の発展、東南アジアの国家形成に触れ、南アジア世界と東南アジア世界の形成過程を把握させる。</p> <p>ウ 東アジア世界・内陸アジア世界 東アジアと内陸アジアの地理的特質、中華文明の起源と秦・漢帝国、遊牧国家の動向、唐帝国と東アジア諸民族の活動に触れ、日本を含む東アジア世界と内陸アジア世界の形成過程を把握させる。</p> <p>エ 時間軸から見る諸地域世界 主題を設定し、それに関連する事項を年代順に並べたり、因果関係で結び付けたり、地域世界ごとに比較したりするなどの活動を通して、世界史を時間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得させる。</p> <p>(3) ユーラシアの海域及び内陸のネットワークを背景に、諸地域世界の交流が一段と活発化し、新たな地域世界の形成や再編を促したことを把握させる。</p> <p>ア イスラーム世界の形成と拡大 アラブ人とイスラーム帝国の発展、トルコ系民族の活動、アフリカ・南アジアのイスラーム化に触れ、イスラーム世界の形成と拡大の過程を把握させる。</p> <p>イ ヨーロッパ世界の形成と展開 ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向、西ヨーロッパの封建社会の成立と変動に触れ、キリスト教とヨーロッパ世界の形成と展開の過程を把握させる。</p>	<p>南アジア世界の概略を理解させ、さらに東南アジア世界への文化的影響等について捉えさせる。</p> <p>東アジア世界の概略に関して中国を中心に理解させ、その文化の周辺地域への影響等について捉えさせる。</p> <p>各地域世界の同時代における事象を並列的に整理し、その関連性等について考察させる。</p> <p>イスラーム世界の概略を理解させ、その各民族および各地域への拡大・発展について捉えさせる。</p> <p>ヨーロッパ世界の概略を理解させ、その特質やその後の発展等についても捉えさせる。</p>	

学習指導要領		都立淵江高校 学カスタンダード
(4) 諸 地 域 世 界 の 結 合 と 変 容	<p>ウ 内陸アジアの動向と諸地域世界</p> <p>内陸アジア諸民族と宋の抗争、モンゴル帝国の興亡とユーラシアの諸地域世界や日本の変動に触れ、内陸アジア諸民族が諸地域世界の交流と再編に果たした役割を把握させる。</p>	<p>中国および東アジア世界とモンゴルを中心とする内陸アジア世界との関係性等について理解させる。</p>
	<p>エ 空間軸からみる諸地域世界</p> <p>同時代性に着目して主題を設定し、諸地域世界の接触や交流などを地図上に表したり、世紀ごとに比較したりするなどの活動を通して、世界史を空間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得させる。</p>	<p>同時代の各地域の状況を、歴史地図等を利用して立体的に捉えさせる。</p>
	<p>アジアの繁栄とヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の結合が一層進展したこととともに、主権国家体制を整え工業化を達成したヨーロッパの進出により、世界の構造化が進み、社会の変容が促されたことを理解させる。</p>	<p>アジアとヨーロッパそれぞれが発展、繁栄を遂げるなかで、相互に交流し一体化が進むこと等について理解させる。</p>
	<p>ア アジア諸地域の繁栄と日本</p> <p>西アジア・南アジアのイスラーム諸帝国や東南アジア海域の動向、明・清帝国と日本や朝鮮などとの関係を扱い、16世紀から18世紀までのアジア諸地域の特質とそこでの日本の位置付けを理解させる。</p>	<p>アジアの諸地域の中心となる国家について理解させ、それらの日本との関係等について捉えさせる。</p>
	<p>イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界</p> <p>ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、世界各地への進出と大西洋世界の形成を扱い、16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解させる。</p>	<p>ルネサンス、宗教改革、主権国家体制等について理解させ、その歴史的意義を捉えさせる。</p>
	<p>ウ 産業社会と国民国家の形成</p> <p>産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立など、18世紀後半から19世紀までのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を扱い、産業社会と国民国家の形成を理解させる。</p>	<p>産業革命、フランス革命等について理解させ、その歴史的意義を捉えさせる。</p>

学習指導要領		都立淵江高校 学カスタンダード
<p>エ 世界市場の形成と日本 世界市場の形成、ヨーロッパ諸国のアジア進出、オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革を扱い、19世紀のアジアの特質とその中での日本の位置付けを理解させる。</p> <p>オ 資料から読み解く歴史の世界 主題を設定し、その時代の資料を選択して、資料の内容をまとめたり、その意図やねらいを推測したり、資料への疑問を提起したりするなどの活動を通して、資料を多面的・多角的に考察し、読み解く技能を習得させる。</p> <p>(5) 地球世界の到来 科学技術の発達や生産力の著しい発展を背景に、世界は地球規模で一体化し、二度の世界大戦や冷戦を経て相互依存を一層強めたことを理解させる。また、今日人類が直面する課題を歴史的観点から考察させ、21世紀の世界について展望させる。</p> <p>ア 帝国主義と社会の変容 科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展、帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、国際的な移民の増加などを理解させ、19世紀後期から20世紀初期までの世界の動向と社会の特質について考察させる。</p> <p>イ 二つの世界大戦と大衆社会の出現 総力戦としての二つの世界大戦、ロシア革命とソビエト連邦の成立、大衆社会の出現とファシズム、世界恐慌と資本主義の変容、アジア・アフリカの民族運動などを理解させ、20世紀前半の世界の動向と社会の特質について考察させる。</p> <p>ウ 米ソ冷戦と第三世界 米ソ両陣営による冷戦の展開、戦後の復興と経済発展、アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題、平和共存の模索などを理解させ、第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向について考察させる。</p>	<p>ヨーロッパ諸国の世界進出の概略について理解させその中でのアジア各国および日本との関係性等について捉えさせる。</p> <p>歴史的資料の読解力等を身に付けさせる。</p> <p>科学技術の発達や生産力発展の状況を理解させ、その後の世界の歴史への影響等について捉えさせる。</p> <p>帝国主義の概略について理解させ、その歴史的意義や影響についても捉えさせる。</p> <p>両次世界大戦の概略について理解させ、その間の世界の状況や歴史的意義についても捉えさせる。</p> <p>米ソ冷戦の概略について理解させ、そのもとでのアジア・アフリカ等世界各地域への影響等についても捉えさせる。</p>	

学習指導要領		都立淵江高校 学カスタンダード
	<p>エ グローバル化した世界と日本 市場経済のグローバル化とアジア経済の成長、冷戦の終結とソビエト連邦の解体、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、1970年代以降の世界と日本の動向及び社会の特質について考察させる。</p> <p>オ 資料を活用して探究する地球世界の課題 地球世界の課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、資料を活用し表現する技能を習得させるとともに、これからの世界と日本の在り方や世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<p>現代のグローバル社会の状況を理解させ、その課題、問題点等についても考えさせる。</p> <p>地球世界という観点から、テーマを設定し資料読解、討論等によって考察を深めさせる。</p>